

英語を楽しく

No. 151

☆英語を間違えて言っても通じる

※大切なことは、自分の気持ちを知らせること

・前置詞の使い方はよくまちがえるのですが、例えば、下の a の文は、

a) I'll go skiing to Akakura (家から) 赤倉までスキーをして行く。

(家からスキーの板を履いて赤倉までいくはずがないですね。)

となり、次の b の文は

b) I'll go skiing in Akakura 赤倉でスキーをするために行く。

となるのですね。to と in だけで文が違って来るわけです。でも、英語を母国語としない人が言えば、「to と in を間違えたのだな。」と思い、話し手の思いを正しくとってくれるはずですよ。

もう一つ例をあげましょう。

A さんはアメリカから来た B さんとの待ち合わせのために次のメールを送りました。

a) I'm waiting for you in front of Arakawa hotel in front of Himeji station.

姫路駅の前にある荒川ホテルの前で待っているからね。

でも、後ろの in front of の使い方に問題があるようです。そこで、

b) I'm waiting for you in front of Arakawa hotel across the street from Himeji Station. とやり直しました。なぜ？

そのわけは、

荒川ホテルと姫路駅は道を挟んで反対側に立っているのです。駅の前の道を越して、ホテルがあるということですから 姫路駅から見た通り from Himeji Station. 通りをこす across the street を使います。

もし、a の文章がもし伝わらなかつたら、文を2つにして

・ I'm waiting for you in front of Arakawa hotel.

・ Arakawa hotel is close to Himeji Station.

と言えればわかってくれることでしょう。

2 例紹介しましたが、「英語を間違えても文意は通じる」と信じて話しましょう。

でも、自分の言い易い文を言う心がけも忘れずに。上の A さんからの B さんへのメールなら

I'm waiting for you in front of Arakawa hotel.

The hotel is across Himeji Station. ね、簡単でしょう。